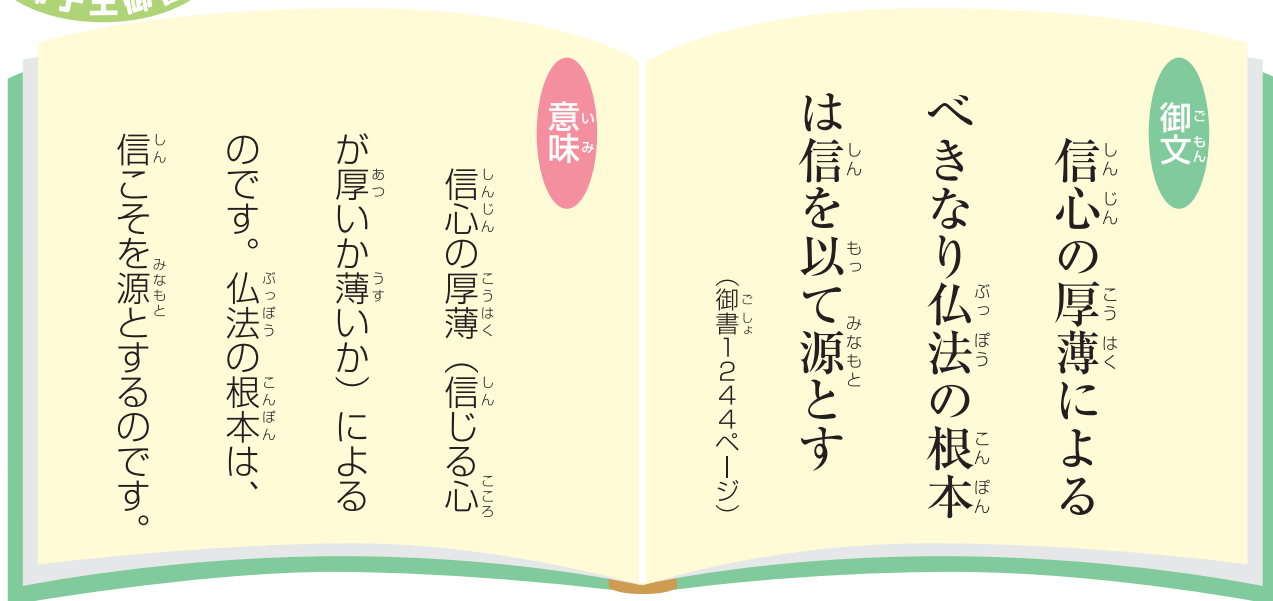




10月度の御書

# 「日女御前御返事」



信心の厚薄（信じる心）が厚いか薄いか）によるのです。仏法の根本は、信心こそを源とするのです。

信心の厚薄によるべきなり仏法の根本は信を以て源とす

(御書1244ページ)

## どんななやみも 必ず乗りこえていける！

やあ、みんな！ ボクは、ライオン博士のキング君。季節はすっかり秋。勉強やスポーツ、読書など、目標に向かって、思い切りチャレンジしていこうね！ それでは今回も学んでいこう！

### 「信じる心」を強く——

今回の御文では、祈りをかなえていくために大切なことを教えられているよ。

それはね、「御本尊を信じる心」を厚く、強くしていくこと。「信じる心」が厚ければ厚いほど、強ければ強いほど、祈りをかなえていけるんだ！

たとえば、「大きな鐘」を思いうかべてみて。その大きな鐘を小さな「つまようじ」でたたいたら、どうだろう？ 小さな音しか出ないよね。

でも、大きくて太い棒でたたいたら、大きな音が出るはずだね。

それと同じように、御本尊に祈っていく時、「本当にかなうのかなあ？、ってうたがう気持ちで祈っていると、鐘を「つまようじ」でたたいているのと同じで、小さな力しか出ないんだ。

反対に、「絶対にかなえるぞ！、って強い気持ちで祈っていくと、鐘を大きな棒でたたくのと同じで、大きな力を引き出して、1番いい方向に進んでいくこと

ができるんだよ！

だから、お題目をあげる時は、「絶対にこうする！、と、心を決めて祈っていくことが大事なんだ。それが、祈りをかなえていく「ひけつ、だよ！

### 負けないと決める——

たとえば、なやみや「かべ、にぶつかった時。このなやみは乗りこえられないんじゃないかって、くじけそうになる時もあるかもしれない。

だけど、ボクたちは、何があっても負けない、強い強い「師子王の心」を持っているんだよ。

だから、苦しいことがあっても、「絶対に負けない！、と決めてお題目をあげて立ち向かっていけば、必ず乗りこえていくことができる。

たとえ、すぐには解決しなかったり、うまくいかなかったりしても、お題目をあげて挑戦したことは、全部、自分を強くしてくれる「栄養、になるんだ！

池田先生は語られているよ。

「どんななやみも、題目を唱えれば、全部、自分の力になっていきます。すべて福運に変わります」

さあ、どんな時も、お題目を根本に、負けない勇気をわかせ、ほがらかに挑戦の道を進んでいこう！